

どうぶつこうえん ニュース



No.40
2001
夏



千葉県動物公園
Chiba Zoological Park

Topics

トピックス アミメキリン (偶蹄目・キリン科)

アミメキリンは、アフリカのサハラ砂漠以南、ケニア北部、エチオピア南部まで分布し、疎開林および木の生えた草原地帯に分布しています。

主食とするアカシアの木がまばらに生えているところに、オス1頭を中心にメス2~3頭とその子供たちとで群れを作って暮らしています。

オスは、生後42ヶ月で性的に成熟します。メスは、生後48~60ヶ月で最初の妊娠年齢に達しますが、性成熟は栄養状態により1年あるいはそれ以上遅れることもあります。

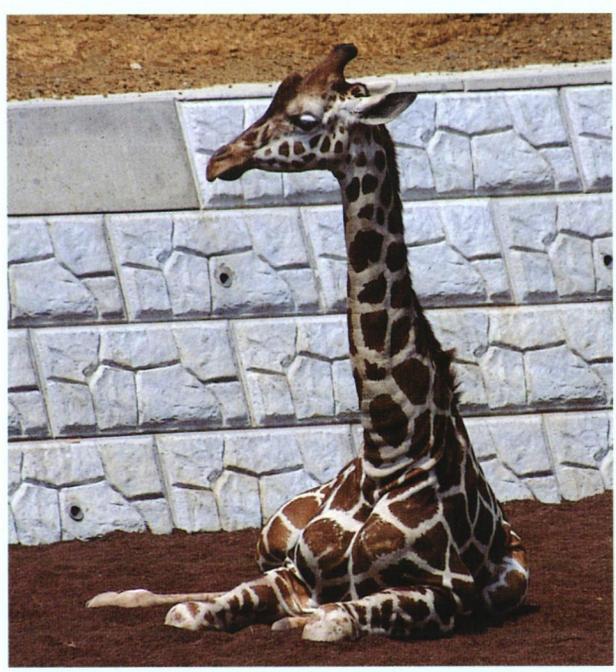
当園では、1988年よりアミメキリンの飼育を始めて13年が過ぎ、その間には繁殖、死亡、搬入、搬出と、多くのできごとがありました。

草原ゾーンにあるキリン放飼場の改修工事が2000年3月でほぼ終了し、今までよりキリンたちと身近になり、手を伸ばせば触れ合えるぐらいです。

それにともない今まで母親アジムとその子供サツキ(メス 平成10年生まれ 3才)の2頭だけで展示されていましたが、サツキにお嬢さんとして桐生が岡動物園(群馬県)より2001年3月19日にキリサブロウ(オス 平成10年生まれ 2才)が来園しました。

キリサブロウは、4月2日よりアジム、サツキと一緒に放飼されています。

最初は、アジムを母親と思うらしく乳を飲もうとしたり、後を追っていました。



サツキは、キリサブロウが怖いらしく逃げていました。現在は、馴れてきて3頭一緒に餌を食べている姿が見られます。

今後、キリサブロウとサツキの間に可愛い赤ちゃんの姿が見られることを願っています。

石井 信一 (Shinichi Ishii)

目次 CONTENTS

- 表紙【ヒロハシサギ】……………①
- トピックス【アミメキリン】……………②
- 特集【Happy Birthday モモタロウ
～1年間の成長記録～】……………③
- モモコ親子の1年を振り返って…④～⑤
- 動物公園の植物 【ハナミズキ】……………⑥
- 公式ホームページ……………⑥
- 動物公園日誌から【'01.3/1～'01.5/31】……………⑦
- 編集後記……………⑦
- 裏表紙【ムフロン(仔)】……………⑧

表紙の動物説明 ヒロハシサギ

幅広い大きな嘴にギョロリとした目。特徴ある姿をしたヒロハシサギは、メキシコ、ブラジル、ボリビアなどの中南米地方のマングローブの林や川沿いの密林に生息しています。

昼間は茂みに潜み、暗くなってからエビや昆虫、小魚、カエルなどの餌をとり、番だけ、または小さなコロニーを造って樹上に巣をかけ、ひなを育てます。

分類学的にはゴイサギ類に似ていますが、一族一種のちょっと変わった鳥で、顔かたちといい、ハシビロコウに似たところがありますね。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成13年5月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31.May.2001

哺乳類	54種	238点	両生類	0種	0点
鳥類	79種	302点	魚類	0種	0点
爬虫類	4種	19点	総計	137種	559点

Happy Birthday

特集

モモタロウ

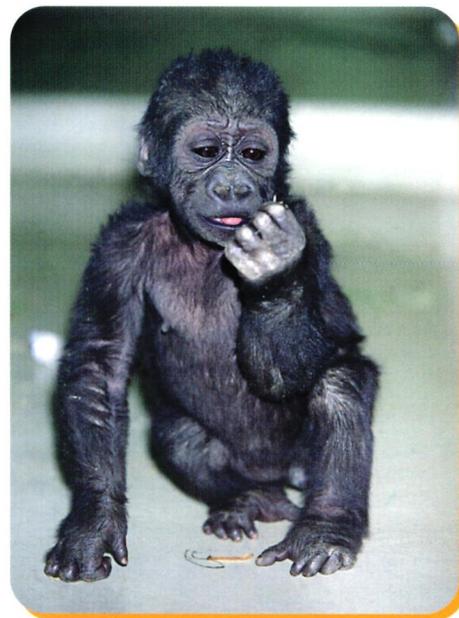
～1年間の成長記録～



7月3日 出産
初めまして、モモタロウです



8月4日 生後1ヶ月
お母さんと一緒に……



2月4日 生後7ヶ月
最近、外に出られなくてつまらないな



3月19日 生後8ヶ月
暖かくなってひなたぼっこしてます



4月23日 生後9ヶ月
お母さんと“チヨツ”

写真提供：
東京動物園協会



モモコ親子の

1



昨年の7月1日陣痛が始まり、モモコは激痛に耐えて7月3日10時29分、無事に赤ん坊を出産しました。

モモコが赤ん坊の顔を優しく啜えて口や鼻から羊水を吸い取っている姿は、今でも感動的で忘れることができません。生後すぐに、モモコは喉に赤ん坊をはさみ、その背中を指で軽くたたいてあやしたり、オッパイが飲みやすいように赤ん坊を支え、飲んでいる間もあやしていました。

出産後の子育てには心配事が山ほどありましたが、なかでも3つを注意しました。1つめは分娩後のモモコの行動です。2つめに72時間内の授乳の確認。3つめの注意すべきことは赤ん坊の1週間から1ヶ月までの成長です。モモコは移動時も片時も赤ん坊を離すことはなく、お腹の毛を握らせて運んでいました。モモコは予想以上に面倒見が良く、赤ん坊が泣くとすぐに抱いてあやしたりして、1日中構っていました。赤ん坊の姿勢をとくとき、うつ伏せと仰向けの交互に寝返りさせ、動きに変化をもたせました。3週齢になると、物音に反応し、動くものに目がついていき、首を持ち上げるようになりました。モモコ親子の順調な経過で、最初の大きな関門は無事に通過したと思いました。

「都民の日」にあわせて、10月1日からモモコ親子の一般公開を開始し、初めて赤ん坊（3ヶ月齢）を放飼しました。10月だけ、天気が良くて暖かい日に2時間くらいの展示です。まだ、赤ん坊は腹ばいになって前進するのが精一杯な動きです。

寒くなる11月から冬までは一般公開を中止し、広くて暖かい室内と日光の入るケージで過ごすことになりました。冬の寒い間でも一時暖かいことがありましたが、残念ながら親子は見ることはできませんでした。



次に、11月5日（日）日本晴れ、この赤ん坊に強い立派な名前をつけていただいた命名式がありました。上野動物園と千葉市動物公園共同の命名募集で総数1万通余りが集まり、その中で断然トップの票数で「モモタロウ」に決まりました。我々はフルネームで呼ぶより、「もっくん」や「タロウ」と愛称で呼んでいます。

賜上野動物園・千葉市動物公園



今年3月15日、モモタロウ（8ヶ月齢）に予防注射を打つために親子を分けて、嫌がるモモタロウだけを捕まえました。じっとさせるのに3人がかりで押さえ、お尻に打ちました。ちょうどその時に計った体重が6,830g、ほぼ標準の体重です。そ

年を振り返って

2001年5月31日

の間、モモコは半狂乱のように怒っていました。この一件から警戒して、モモタロウは1ヶ月ほど我々に近寄ってきませんでした。

また、春休みを前にした3月24日から、4ヶ月ぶりに公開することになりました。この4ヶ月間の成長は驚くほどで、室内ではモモコから離れ、走ったり転がったり自由に遊び、フェンスによじ登り、天井にぶら下がり、担当者はヒヤヒヤするほどです。しかし、屋外の放飼場では動きが一変します。モモコからひとときも離れず、モモコは剥がそうとするのですが、くっついたままです。成長したモモタロウに警戒心も芽生えてきたのです。

5月に入っても、外ではモモタロウはモモコに抱きついたままで一向に離れようとはしません。ところが、17日になって、モモタロウの行動に急な変化があり、モモコから4~5m離れた草むらで警戒しながら一人遊びをし始めました。次第に面白がって、草むらの芝を引っこ抜き、叩き、口に入れる。モモコが近づくと逃げる、無理にお腹の毛を握らせて移動するとすぐに降りてしまうという繰り返しです。モモコは後をついて回る羽目になりました。モモタロウは1歳近くになって、母親から離れて動き回る子供の順調な発達になってきました。思わぬ事故や怪我には万全の注意を払って、モモコも我々も目が離せなくなってきました。



東京都恩賜上野動物園

飼育課 東園飼育係 第3班

ゴリラ担当 今西 亮

写真提供：東京動物園協会



動物公園の植物…①9

The plants the Zoological park

ハナミズキ (Cornus florida)



米国東海岸からメキシコにかけて分布するハナミズキは、ミズキ科ミズキ属の落葉小高木～高木です。別名はアメリカヤマボウシといいます。

1912年に当時の東京市長 尾崎行雄がワシントンにサクラを贈り、その返礼に東京に贈られた木としてよく知られています。

最初は植物園や公園に植えられる程度でしたが、最近では庭木や街路樹として各地に植えられています。また、花が赤や黄色のものや、斑入り葉などの園芸品種も多く出ています。

ハナミズキは、米国のバージニア州、ノースカロライナ州の州花であり、英名は Flowering Dogwood です。

特性としては、よく分枝し高さ5～12mになるもので、土性は砂壤土が適しており、耐潮性は弱い耐乾性はあります。また、病虫害の少ない、管理が容易な樹種であり、花や紅葉の美しいことから街路樹としてよく選ばれます。

特長は、樹皮は灰黒色で、マツの樹皮のような細かな亀裂が入っています。若枝は紫褐色を帯びています。冬芽は赤褐色の鱗片に包まれ、側芽は対生し、葉芽は卵形で先はとがる。花芽は枝先につき半球形、葉痕は半円形、葉は卵形で先はとがり、基部は広い円形、側脈は6～7対あり、秋に美しく紅葉します。4～5月に黄緑色の小さな花が15～20個集まった球形の頭状花序をつくり、白井花弁状の総苞片は広倒卵形で大きく、先端はへこんでいます。

果実は核果で楕円形、枝先に数個集まってつき、10月頃には光沢のある深紅色に熟し、ツグミ・ヒヨドリなどの餌となります。

動物公園では、駐車場料金所付近の園路に植栽しており、来園者の目を楽しませてくれます。

用途は庭木・街路樹・記念樹・花材などに使用されます。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)



公式ホームページ

HomePage

アドレスは、www.city.chiba.jp/zoo

遅ればせながら、わが千葉市動物公園でもやっとこさ「公式ホームページ」なるものが出来ました。開設は、今年の3月末。春休みからゴールデンウィークにかけて動物公園をご利用いただく皆さんに、見ていただくために急遽開設を急ぎました。

開設の話があがったのは昨年の12月末。そこから開設に向けて担当職員6名が選抜され、案を出し、デザインの素材を集め、記事の分担をし、3月中旬に何とか間に合いました。当然各職員とともに本来の業務をこなしながらの、ただでも忙しい年度末という状況下で若干の犠牲者（過労により倒れた者1名・腱鞘炎1名）を出しましたが、時間と予算の都合上「全て手作り」という至上命令の中、とりあえず満足の行く物が出来たと思っています。

さて内容としましては実際にご覧いただければと思いますが、交通案内や料金といった一般的案内、イベント情報、最新の話題、展示動物と遊園地遊具の紹介といった基本的な内容をまずご提供させていただきました。「まず」といいましたが、それは今後さらに拡充の予定があるからです。それは「動物園をどうやって楽しむか」という情報の提供を考えています。十分な時間のない方には、「1時間ダイジェストコース」・あいにく日曜日は雨になりそう「雨の日コース」、さらに、学校の先生方向けに色々な学習テーマを設定して「こんな観察学習をしてみたら……」といった校外学習のプログラムの参考になるような情報提供。他にも教育普及用の教材の作り方の提供なども考えています。

この記事を書いているのが5月。現在7月末のアップを目指して準備を進めておりますので、順調に行けばこの記事をご覧になって、しばらくした頃には完成していると思います（引き続き「手作り」ですので……）。

動物園をもっと知っていただく・活用していただくために、今後ともさらに「手を変え・品を替え」をモットーに製作して行きたいと思っていますので、ご意見などもお寄せください。

(動物公園ホームページ検討委員会)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'01年3月1日~'01年5月31日

- 3月1日 東京都恩賜上野動物園 ハシビロコウについて視察
- 3月5日 サル比較舎 塗装工事開始
- 3月12日 ツクシガモ4羽、ホオジロオナガガモ2羽 熊本市動植物園へ寄贈 ムギワラトキ3羽 徳山市立動物園へ、トナカイ(雌1)動物交換で搬出 園内整備のため11:30~15:30停電
- 3月13日 ヒロハシサギ4羽 徳山市立動物園より動物交換
- 3月14日 で新着
ヤクの角、麻酔下にて治療実施
新潟県愛鳥センター 視察
- 3月15日 園内防災訓練を実施
- 3月19日 アミメキリン(雄1) 桐生が岡動物園関東より借入で新着
- 3月23日 マレーバク(雄1) 東京都多摩動物公園に貸与にて搬出
エリマキキツネザル 麻酔下にてツベルクリン接種を実施
- 3月24日 サル比較舎 塗装工事終了
- 3月25日 「ワンポイントウォッチング」開催(ミーアキャット)(講師 飼育課 浅野)
- 4月2日 アミメキリン 3頭 展示始める
- 4月6日 ムフロン 1頭 繁殖
- 4月7日 ワタボウシバンシェ 2頭繁殖するが、うち1頭死亡
- 4月9日 アフリカハゲコウ 展示開始
- 4月11日 タンチョウ 羽村市動物公園へ貸出で搬出
- 4月16日 ペルシュロン 削蹄実施
- 4月20日 アミメキリン、ハートマンヤマシマウマ草原ゾーンにて展示
- 4月23日 **モウコノウマ(雌1)、シロオリックス(雄1) 東京都多摩動物公園より新着**



- 4月25日 シロガオマーモセット(雄1) 南房パラダイスより新着
- 4月26日 カオムラサキラングール 繁殖
- 4月28日 カラフトフクロウ 産卵確認
- 5月3日 「親子で学ぶ動物教室」開催(5・6日も実施)
- 5月7日 タンチョウ(若雄) 横浜市金沢動物園へ交換で搬出

- 5月9日 シロオリックス(雌1) 南紀白浜アドベンチャーワールドより新着
アカカンガルー(雄1) 心不全にて死亡
ポト(雄1) 那須ワールドモンキーパークより交換にて新着
- 5月12日 カラフトフクロウ 抱卵中の卵を検卵するが無精卵と判明
- 5月13日 **愛鳥週間特別講演会 開催「鳥を描いてみよう」**
講師一箕輪義隆氏(財・日本鳥類保護連盟)



- 5月14日 関東東北ブロック飼育技術者研究会 飼育課・伊場出席(於・仙台八木山動物公園)
オジロワシ ヒナ人工育すう



- 5月20日 ダチョウ 産卵
- 5月23日 レッサーパンダ(雄1) 死亡
- 5月24日 ミーアキャット(雄1) 死亡
- 5月27日 「ワンポイントウォッチング」開催(アミメキリン)(講師 飼育課 石井)
- 5月28日 ニューカッスル予防接種 実施
- 5月30日 モウコノウマ 2頭展示 実施

牧野 辰男(Tatsuo Makino)

編集後記

動物公園の中央広場には、左右にけやき並木が50メートル程あります。短いけれどその下を歩くと嫌なことも忘れ、のんびりとした気持ちになれます。特に若葉の頃は、元気の素が降り注いでくるようです。ご来園の際は、ぜひこのけやき並木をのんびり歩いて下さい。今回、モモタロウの一才の誕生記念号ということで、発刊予定を1ヶ月延ばしました。ご了承下さい。

佐藤 幹雄(Mikio Satou)



ムフロン (仔)



Information

平成13年 8月・9月・10月の 催し物一覧

- ★ 8月8日(水) 木工教室
- ★ 9月23日(日) 動物愛護特別講演会
- ★ 9月30日(日) ワンポイントウォッチング(シロエリハゲワシ)
- ★ 10月6日(土)・7日(日)・8日(月) 動物公園秋祭り
- ★ 10月14日(日) 折り紙教室